

# 地区図書館ニュース

## 「みんなで考えよう 岡山市の図書館」

平成25年11月14日第3回目の講演会を開催しました。今回は、4月から岡山市立図書館の移動図書館車が、幡多幼稚園の近くの高屋公園（東部地区図書館用地の横です！）に巡回を開始したこともあり、「子どもの育ちと絵本の関わり」と題して、竜操中学校の学校司書・足田久美子さんを講師に迎え、講演会を行いました。会場には、会員を含め15の方が集まり、読み聞かせボランティアでも活躍される子育て真っ最中の方もおられました。



絵本の世界は、「誰でもできること」から「絶対にできないこと」まで奥行きがあり、失敗も含めた現実の様々な生活体験を基礎として、読んだ子どもの様々な感性を揺さぶり、膨らませることを学びました。

また、ポイントの『うまかたやまんば』（おざわとしお / 再話 赤羽末吉 / 絵 福音館書店 / 出版）では、子どもになじみのない「からと」（お話の中でやまんばが入って寝る箱）という言葉がでてきますが、聞いたことがなく意味が分からなくても、絵本の絵で自然とわかるようになっていっていると聞き、「絵」と「言葉」が一緒になっている絵本の世界が伝えてくれるものの力強さを感じました。絵本を読むことの二次的なものとして、絵を通して言葉を読み取ることができ、言葉の獲得や増加、その表現や理解という成長につながっていることを学びました。

そして、絵本で見つけた発見を辞典などの調べものの本で確認したり、実際に体験してみると、子どもは「わかった！」と実感し、知識欲を満するという経験を積むことができるそうです。



## 絵本を読むことの 面白さを知る

足田さんは、当日なんと56冊もの絵本を会場に用意し、1冊1冊その面白さ、絵本の魅力について紹介していただきました。

子どもが楽しめる7つのポイントに合わせ、具体的に教えていただきました。

そのポイントとは…

- 子どもの好きなことがでてい
- 一緒に遊んだように感じられる
- 身近な体験が出てくる
- 感性に委ねるもの
- 昔話
- ほのぼの系
- 人気のキャラクター 　　です。



## 子どもにとって図書館とは

……

子どもにとって本に触れる身近な場所としては学校図書館がありますが、その中でも子どもと本との関わり方は育っていくことも知りました。小学生では色々な本へ挑戦し、本で調べる習慣づけを身に付け、中学生では各個人の好みが出てきて、各々図書館で思い思いに過ごしているそうです。また、図書館は文化的な雰囲気のある場所と同時に、他の学年と自然に交流できる場であることも知りました。

情報過多の時代を生きる子ども達は、自分で見極め、必要なものを選択する力が必要です。そのためにも、じっくりと自分の頭で考え、心で感じられる大人になってほしい。本を通じ、幅広い世界を知り、発見し、栄養として蓄えてゆくことができます。図書館は、すべての人の知る権利を保障している施設であり、一人一人が自由に成長できる空間です。子どもの成長は待つてはくれません。絵本、そして本が与えるその幅広い世界のことを講演で聞いて、早く中区の図書館ができて、子ども達が自由にその好奇心を広げ

### 地区図書館研究会のご案内

#### 【これからの活動予定】

3月24日(月)15時	定例会	東公民館
4月14日(月)15時	定例会	東公民館
5月12日(月)15時	定例会	東公民館

図書館見学会も計画します。どなたでもお気軽にご参加ください。



てゆくことができる場がほしいと思わずにはおれませんでした。

(田中)

## 教育長と懇談

11月18日に、「地区図書館早期建設に関するアピール」を持って岡山市教育長との懇談に行ってきました。



図書館の必要性と市民の願いを30分という短い時間でしたが、アピールさせていただきました。

中区には「図書館整備実地計画」の土地が準備されているにも関わらず、今まで、図書館の必要性の高さは軽視され、活用されないままの空き地が「図書館ができるかもしれない!」という、あいまいな噂の中で役立つこともないまま存在しています。

このままではもったいない!

図書館という施設は市民に与えられた幅広い情報の発信地です。そして市民の「交流の場」となって、希薄になりつつある私たちや地域を支える大切な役割を担うことでしょう。

中区には自転車で気軽に行ける「図書館」という施設がありません。

ぜひ中区にも図書館を!!

地区図書館研究会は図書館の早期建設を願い、日々活動を続けています。

2014年2月号

発行 地区図書館研究会

岡山市立東公民館講座

住所：岡山市中区高屋344-1

電話：086-271-1911